

建学の精神

本学の教育理念は、人類の築き上げつある学術文化を研究・教授し、深い教養と総合的判断力を具えた豊かな人間性を養うことによって、平和的かつ創造的な文化の向上と活力ある社会の発展に寄与する人材を育成するにある。この理念に基づき、特に地球的・国際的視野の涵養、創造的・実践的知性の開発、自発的・奉仕的精神の体得を目標として、心身ともに健全な学生の育成を期する。

本学のモットー

思索と行動は人生の双つの翼だ



財団法人岩手県体育協会と学校法人富士大学との包括連携協定を締結

9月25日(月) 岩手県庁で締結式が行われました。

この協定は、両法人の連携・協力により、県内スポーツの振興・発展を図り、豊かで活力ある地域社会の実現に寄与することを目的としています。

スポーツ振興アカデミー キックオフミーティング



5月3日（水・祝）に富士大学スポーツ振興アカデミーの開設を記念し、キックオフミーティング「大学スポーツの未来」を開催しました。地域のスポーツ振興に関心のある一般市民や行政担当者、本学学生、教職員の約500名が一堂に会し、本学のスポーツ資源を生かした取組や今後の方向性について考える機会となりました。

特別講演講師の仙台光仁スポーツ庁参事官（地域振興担当）からは、大学がスポーツ振興の一端を担う意義と地域づくりへのモデル構築への期待が述べられ、基調講演講師の上田幹也岩手県文化スポーツ部長からは、岩手県のスポーツ振興施策及び戦略説明の後、県内トップのプロスポーツチームとの連携や岩手スポーツコミッションの構想を力強くお話いただきました。

また、地域のニーズを掘り起こすことを目的に行った事例紹介では、佐藤隆治はなまきスポーツコンベンション事務局長、伊藤啓太公益財団法人岩手県体育協会主事、阿部史憲東北知的障がい者サッカー連盟理事長の3名がそれぞれの団体の活動趣旨を述べられ、スポーツ振興アカデミーとの協働についての在り方を共有する機会となりました。

参加した学生からは「岩手県のスポーツ振興を知る機会となり有意義だった」、「自分たちが協力できることがあるとわかったので、何かできる取り組みをしてみたい」と感想があり、地域からは「スポーツ施設が充実している富士大学にますます期待が高まった」等のコメントがありました。



地域創生論

7月20日、「地域創生論」第15回目の講義として公開シンポジウム『「地域創生」の実現に向けてII』が開催されました。

シンポジウムでは岡田秀二学長が司会を担当し、岩手県副知事千葉茂樹氏、花巻市長上田東一氏、岩手日報社報道部長太田代剛氏の三氏がそれぞれに地域創生の取組について率直な意見を表明していただきました。

千葉氏からは、岩手県は「ふるさと振興」という考えのもとに地方創生を進めており、岩手で働き、育て、暮らす10のプロジェクトが着実に進んでいることが紹介され、太田代氏は、ジャーナリズムの立場から地方創生を評価し、「全国画一的でないアイデアとやる気」に意義があったが、現状はその理念の実現には及ばない。若者が積極的に声を上げることが大事だとの考えが表明されました。

上田氏は、移住・定住の取組を中心に花巻市の地域創生の取組を紹介し、県との緊密な連携の下に進められていることを強調しました。

討論では、花巻市の家守舎など若い層の経営者の取組を市内各層の経営者が一体となって支援する雰囲気形成されていること、岩手県では他に比べても活発な地域創生の動きがみられること、あるいは国際リニアコライダーへの取り組みなど様々な論点を巡って活発な意見が展開され、出席者それぞれが花巻市と岩手県における地域創生の現在の進捗段階を確認することが出来たものと思われます。



本年度の地域創生論は今回のシンポジウムをもって最後の授業となりました。

パネリストの方々をはじめ、各回の講師を務められた皆様の絶大なるご支援と協力をもって成功に導くことが出来ました。

改めて講師の先生方と関係者の方々、ご出席いただいた市民の方々に心より感謝申し上げます。

ダニエル先生の英語講座

今年度から発足した、異文化交流センター主催の「ダニエル先生の英語講座」(第1回:前期4月24日~6月26日・第2回:後期10月16日~11月27日)が行われました。

最終講座では、テキサス式パーティーと題して、ダニエル先生やスタッフが料理やゲームをしたり、料理を振舞ったりしました。また、受講者の方から琴の演奏や、英語で感謝のスピーチ等を頂き、全員で楽しい時間を共有できました。



※主催: 富士大学異文化交流センター

講座
①15:50~16:35(45分)
②16:45~17:25(45分)

定員

6名程度

対象

高校生、一般

参加料

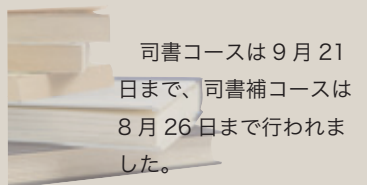
無料

回	実施日	内 容
1	10月16日(月)	自己紹介:自分の町や趣味を紹介しよう
2	10月23日(月)	日米のTVコマーシャルで英語を学ぼう
3	10月30日(月)	様々なコミュニケーションの仕方を学ぼう
4	11月6日(月)	日米の有名人について話してみよう
5	11月13日(月)	日米の文化の違いや共通点を話してみよう
6	11月20日(月)	日本や世界のお祭りについて
7	11月27日(月)	ポトラックパーティー

平成29年度文部科学大臣委託 図書館司書・司書補講習が開催されました。



7月18日(火)10時~
本学6号館8階スロープ
教室にて、文部科学大臣
委嘱 図書館司書・司書
補講習の開講式が行われ
ました。



司書コースは9月21
日まで、司書補コースは
8月26日まで行われま
した。



女子学生のための キャリア形成論



本学客員教授 千葉絢子
(岩手県議会議員)先生の講義
が5月31日・6月14日の2回
行われました。

最終講義では、「女性の活躍
出来る社会を目指して」と題し
て、女性が社会で生き抜く為
に、様々な知識を身に付け立ち
向かって欲しいと熱く語り講義
を締めくくられました。

高齢者 公開講座

2017年 「富士大学シニア・ オープンカレッジ」

人々が心豊かに生きる社会の醸成のため、また高齢社会にお
ける大学の地域貢献活動の一環として、富士大学の人的・物的教育
環境を利用し、特に高齢者のための公開講座を開催することにより、
地域における生涯学習機会の充実に寄与するものです。

1

11月10日(金) 6号館632教室 10時20分~11時50分
「家庭で簡単に行えるストレッチ(1)」
(講座・実技) 伊藤潔准教授

2

11月17日(金) 6号館632教室 10時20分~11時50分
「家庭で簡単に行えるストレッチ(2)」
(講座・実技) 伊藤潔准教授

3

11月24日(金) 6号館633教室 10時20分~11時50分
「図書館へ行こう ~人生を豊かにする図書館活用講座~(1)」
早川光彦教授

4

12月1日(金) 6号館633教室 10時20分~11時50分
「図書館へ行こう ~人生を豊かにする図書館活用講座~(2)」
早川光彦教授



平成29年度 第1回「富士大学地域連携推進連絡協議会」

平成29年度 第1回「富士大学地域連携推進連絡協議会」が9月29日(金)13時30分から花巻市生涯学園都市会館(まなび学園)3階、第3学習室で、各事項の報告と勉強会が行われました。

■ 本学の地域連携の取組について報告

■ SUMはなまきから報告

■ 花巻市から報告

■ 花巻信用金庫から報告

■ 花巻工業クラブから報告

勉強会

「林業経営の動向と将来展望

ー花巻地区の発展に向けてー」

花巻市農村林務課 阿部忠一氏



富士大学と花南地区住民の皆様との懇談会



9月27日(水)10時30分から本学大会議室において花南地区住民の皆様との懇談会を行いました。

今回は、本学が現在取り組んでいる事を地域の皆様を知って頂き、今後どのような形で地域との連携をとっていくかを話し合いました。また、花南地区の方から様々意見を頂き地域との密着を再確認しました。

■ 留学生と地元中学生との交流

■ ダニエル先生の英語講座

■ シニア・オープンカレッジ

■ 図書館公開講座

■ 老人クラブ ー大学まで歩こう！

学食体験

就職活動について

経済学科4年 三森寛人
(神奈川：藤沢翔陵高出身)

硬式野球部に所属していて、必死に練習する毎日を送っていました。3年の秋に野球部を引退して、勉強と就職活動に取り組もうと思いました。それまでも授業へはきちんと出席したり、1年生からキャリア教育の授業を受けたりしていましたが、いざ野球中心から勉強中心の生活へ変えようとしたときに初めは何をどうすればよいかよくわからず、自分で勉強しようとしても集中力が一時間も続きませんでした。そこで、先生方に相談をすると、就職のための勉強方法を指導して下さったり、忙しい中個別に対応して下さったりと、何度もお世話になりました。

勉強を進めていくとやがて、解答を見ても理解できなかったことが理解できるようになり、忘れないようにと何度も復習していたら勉強することが習慣になり、いつの間にか毎日4～5時間の勉強ができるようになりました。基礎をしっかりと身に付けることができたので、応用問題も自力で解けるようになっていました。

3月からは会社説明会などもあり、志望企業の説明会にはすべて参加しました。4月になって試験も近づいてくると、毎日が不安との戦いでした。勉強しないと不安で眠れないので毎日10時間は勉強しました。就職活動中にはいろいろ苦しいこともありましたが、先生方やキャリアセンターのみなさんが温かく支えてくださったおかげで、第一志望のJR東日本(東日本旅客鉄道株式会社)から内定をいただくことができました。努力が実って涙が出るほどうれしかったです。富士大学に進学して、教職員の方々や友人たち、野球部のメンバーなど、たくさんの素敵な出会いを通じて人間として成長できたのだと思います。

これから就職活動をするみなさんは、自分が将来何をしたいのか、何になりたいのか、しっかりとキャリアビジョンをたてて、自分の望む道へ突き進んでほしいと思います。そして、困ったときは遠慮なく、先生方やキャリアセンターのスタッフに相談して、悔いのない結果を得るまで努力してほしいと思います。



キャリア教育アンケートから

キャリアセンター 副センター長 木村 毅

富士大学では現代社会を生き抜くための基礎力を養成するため独自に「イーハートブ・キャリアプラン」を策定し、社会に出る際の意識教育を全学的に実施しています。具体的には、授業の「キャリア形成論Ⅰ～Ⅳ」を全学生に履修させ、全員参加のインターンシップを実施しています。また、キャリア形成につながる実践的な科目も多数設定し、多くの学生が履修しています。その結果、平成28年度は「学部系統別実就職率ランキング」(株大学通信社調べ)において、全国の国公立・私立大学経済学系で、実就職率95.3%で第6位(東北・北海道地区では第2位)となり、昨年度に引き続きランクインしました。「売り手市場」といわれる就職戦線でしたが、それでも全国の大学では卒業後に平均72.9%しか就職できない状況から考えれば本学の学生達は大変よく頑張ったと思います。さらに、実就職率の躍進だけではなく、就職先についても、公務員と大手企業(上場・優良企業)に就職した学生は42%に達し、内容も充実していました。この成果は、学生の大多数が部活動で鍛えられ、社会人としての「がんばり力」を身につけていることにも起因すると思われます。

一方、大学としては、卒業後、社会人としてはどのような仕事ぶりを行っているかにも目を向け、毎年、就職先の企業に「キャリア教育アンケート」を実施して、その結果を検証し教育内容やキャリア支援改善の手がかりにしています。

このアンケート結果から見えることは、富士大学卒業の社員は、誠実で責任感があり、忍耐力も勤務意欲もある。また協調性にも優れているという評価です。一方、論理性、創造性、専門的知識についてはもう少し鍛えて欲しいというのが企業からの評価でした。

さらに、就職先の職場における離職率も極めて低い状況であり、職場で辛抱強く仕事に励んでいる様子が見えてきました。全体的には、大学で経済を学び、地道に努力し活躍している逞しい富士大生と評価できると思います。

富士大学は、本年度で開学52年目を迎え、新しい時代を見据えた様々な取組に着手し、変貌しつつあります。キャリアセンターとしても大学生と企業をつなぐ支援を一層充実させながら全力で学生を応援していきたいと考えております。

国際学術交流 シンポジウム



7月17日(月)、中国の華南農業大学経済管理学院(CEM、広州市)の研究者をお迎えし、国際学術交流シンポジウムが開催されました。

当日は、「地域再構築の展望一日中の事例検討」をテーマに、本学副学長(地域経済文化研究所長・異文化交流センター長)の中村良則教授が基調講演を行い、経済管理学院長 万俊毅教授をはじめとする4名の研究者が中国の農業経営、再生可能エネルギー開発、地域経済のデータ分析等に関するパネル報告を行い、意義深い討論が展開されました。

華南農業大学経済管理学院と富士大学は平成28年11月、学術、教育、学生交換の分野で相互に協力し合う旨の協定を取り交わしています。今回の国際学術交流シンポジウムは両大学の友好協力関係の第一歩と位置付けられるものですが、今後とも相互の学術交流、学生交換等あらゆる面での協力関係を発展させていくことが期待されています。

新任教職員の紹介

- ①最終出身学校 ②前職
- ③担当(科目・役職)
- ④趣味 ⑤ひとこと



教員

なつ たかお
夏井敬雄

Takao Natsui

①國學院大學文学部文学科②富士大学経済学部非常勤講師
③日本語の世界A～F、小論文演習、職業人基礎力養成
④園芸、ロードバイク(ヒルクライム)⑤漠然と使っている日本語を、「社会人に必要な日本語」として再認識し、日本語の成り立ちを踏まえつつ、その後の職場で必須となる日本語コミュニケーション能力を身につけるための講義と演習を行っています。学生が自ら読む力と書く力を高めていけるよう、面白くて役に立つ講義となるよう努めてまいります。



職員

えん どう もとじ
遠藤元治

Motoji Endo

①岩手大学大学院農学研究科(共生環境専攻)と静岡大学大学院工学研究科(化学工学専攻)②出光興産退職後山東能源新鉱集団(中国国営石炭企業)技術顧問。帰国後岩手大学に社会人入学し森林政策学修了③地域連携推進センター特別研究員、総務・統括部顧問(来年4月より教員)④車中泊による日本探訪。畑&山仕事。⑤学生の皆さんには、大学で学ぶこと、知ること、調べること、考えることの面白さ(本学のモットー 思索と行動は人生の二つの翼だ!!)を味わえる場を提供できればと思います。岩手の地域自然資源は豊かで素晴らしいものがあります。その地産地消による地域経済の活性化に関し本学が単科大学の特色を活かし地域のシンクタンク機能を果たす「知の拠点」となる様に努力していきたいと思っています。宜しくお願い致します。

教員

さ さ き ゆたか
佐々木裕

Yutaka Sasaki



①岩手大学教育学部 中学校教育養成課程 音楽科②盛岡市立黒石野中学校校長③教師論 教育経営論 教育課程研究 教職特講 教養演習 専門基礎演習 教職実践演習 教育実習事前指導④オーディオと音楽鑑賞 パイプオルガンやアコーディオンを弾くこと ⑤4月から教職課程の授業を担当しています。教師を目指す学生のみなさんは、大きな志をもっているに違いありません。ぜひ実現して生徒一人一人の可能性を引き出し、力を伸ばす教師になってください。教師の仕事は次の時代を担う人材の育成です。自分がこれまで経験した教育の喜びや感動を、学生のみなさんに伝えていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

職員

さ さ き きよと
佐々木清人

Kiyoto Sasaki



①工学院大学工学部②岩手県立一関工業高等学校校長③キャリアセンター副センター長④スキー、JAZZ⑤この度キャリアセンターで学生の就職支援を担当することになりました。教員免許は高校一種数学、中学一種数学、高校一種情報、高校専修工業です。理系人間です。さまざまな相談に乗りたいと思っておりますので気軽にキャリアセンターまで来て下さい。これまでの経験を学生の進路実現に役立てたいと考えています。工学の話題になりますが、2020年から次世代移動通信「5G」が実用化され、IoTによる新しい産業革命が始まると言われています。流通、金融にも大きな変化をもたらします。学生には、世の中の動きにアンテナを高くし、将来を見据えた学生生活を送ってほしいと思っています。よろしくお願いします。



職員

やすだ しんたろう
安田慎太郎

Shintaro Yasuda

①東北学院大学 経済学部経営学科②韓国独立球団③入試・広報部、硬式野球部コーチ、第三陸奥寮寮監④観葉植物⑤昨年度から第三陸奥寮の寮監になり、本年度7月から入試・広報部で勤務しております。大学卒業後は、岩手、佐世保、淡路島、韓国と、様々な地域、環境、国で生活してきた経験とそこで培った知恵を、出来る限り多くの学生に伝えて、物事を広い視野で多面的・多角的に考察できる力を育てられるよう尽力していきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

夏のオープンキャンパス 2017

夏のオープンキャンパスが海の日(7月18日(月))に5号館階段教室を主会場に開催されました。開会とともに岡田秀二学長から歓迎の挨拶と本学の取組についての説明がありました。続いて入試部長佐々木修一教授から学部学科の特長や、就職支援について各種資格取得講座や、就職対策講座、就職実績、少人数ゼミなどについての説明がありました。また、3名の在学生在が大学生活や就職活動などについて体験を話しました。その後、5つのグループに分かれて、学生スタッフが学内の施設を案内し、昼食をとりながら懇談しました。



第17回 全国高校生童話大賞

本学の所在する岩手県花巻市は、宮沢賢治の生誕の地であり、好奇心と想像力にあふれた賢治の精神は今もこのまちに息づいています。優れた童話を数多く残した宮沢賢治にちなみ、2001年(平成13年)から始まった「～賢治のまちから～全国高校生童話大賞」。多感で夢と想像力に富む年代の高校生に、その瑞々しい感性と創造性を引き出す機会を提供しようと企画され、今年で17回を迎えました。

第16回までの応募数は17,000篇にのぼり、高校生らしい発想と自由な世界を創造したテーマなど個性豊かな作品が寄せられてきました。混迷の度を深める時代ですが、新しい時代を担っていく高校生に今後も多くの童話作品を応募していただけることを願っています。

第17回の審査結果は11月24日(金)にホームページ上に掲載して発表いたします。

表彰式は12月24日(日)花巻駅前のなはんプラザにて一般公開し、受賞者の表彰、花巻北高校放送部生徒による大賞作品の「朗読」、花巻農業高校鹿踊部生徒による「鹿踊」の披露を行う予定です。

第16回までの作品(大賞・優秀賞)は童話大賞ホームページに掲載されています。また、朗読コーナー(過去作品)もぜひお聴き下さい。



作品募集期間：6月1日(木)～9月15日(金) 実行委員会：富士大学・花巻市・花巻市教育委員会

平成29年度

花巻まつりに参加しました。

毎年参加している花巻まつりに本学からは、提灯神輿と宮神輿の2基で参加しました。

9月8日(金)・9日(土)の両日は天気にも恵まれ、学生約120名が参加し地域のイベントを大いに盛り上げました。



第51回 紫陵祭

第51回富士大学大学祭「紫陵祭」が平成29年10月14日(土)、15日(日)に開催されました。

この2日間は部活動の遠征等で参加学生が少なかったものの、ゼミ展示や模擬店などの数もほぼ例年通りとなりました。地域コラボ企画として、岩泉町や西和賀町の特産品を販売したり、地域連携の事例を紹介したり、学生たちが協力して新しいイベントを企画していました。

また、14日には第1回スポーツ振興アカデミー医科学セミナーが、15日には大学院学術講演会や図書館活用講座が開催され、講演の聴講を目的とした一般の方も来場されました。

学友会によるステージ企画、近隣の中学校の吹奏楽部による演奏、芸能人お笑いライブ(じゅんごさん&流れ星さん)には一般の方も多数訪れ、盛況となりました。学生が生き生きとした2日間でした。

同時開催されたオープンキャンパスには、制服姿の高校生が訪れ、本学の教員たちに案内され学内を見学しました。お菓子や飲み物を楽しみながら本学の女子学生と女子高校生が懇談する女子カフェも企画されました。

ご来場いただきました皆様ありがとうございました。

また、マルカンソフト券をご提供くださいましたマルカン食堂様をはじめ協賛いただきました皆様および、模擬店等に参加していただきました皆様に感謝申し上げます。



Results

FUJI UNIV. Sports Clubs 大会結果
2017.4~2017.10.31

()の数字は学年

剣道部

■東北学生剣道選手権大会・東北女子学生剣道選手権大会

5月14日(宮城:塩釜カス体育館)
男子 柳館 龍(1) **4回戦進出**
女子 小林美結(1) **5位**
全日本女子学生剣道選手権大会出場決定(6年ぶり)

■全日本女子学生剣道選手権大会

7月22日(エディオンアリーナ大阪)
小林美結 **ベスト32**
1回戦シード
2回戦 ○小林 メー 久野(流通経済大学)●
3回戦 ●小林 -メメ 鍛治(立命館大学)○

■東北学生剣道優勝大会・東北女子学生剣道優勝大会

9月10日(宮城:塩釜カス体育館)
男子 予選リーグ **2位** 決勝トーナメント **ベスト8**
女子 予選リーグ **3位**

ゴルフ部

■関東女子大学春季Bブロック対抗戦

5月10~11日(栃木:サンヒルズカントリークラブ)
第6位

■岩手県女子アマチュアゴルフ選手権

7月11日(岩手:栗駒ゴルフ倶楽部)
津志田翔子(2) **優勝**

■国民大会岩手県代表選手選考会

8月6~7日(岩手:安比高原ゴルフクラブ)
成年男子 佐々木 仁(3) **3位**代表権獲得
成年女子 津志田翔子(2) **2位**代表権獲得

サッカー部

■東北地区大学選手権 兼 総理大臣杯全日本大学トーナメント東北予選

5月14~28日(いわぎんスタジアム他)
準々決勝 対 山形大学医部 5-2
準 決勝 対 岩手大学 2-0
決 勝 対 仙台大学 0-1
準優勝

■東北地区大学サッカーリーグ1部

6月3日~10月28日全14節(花巻スポートキャンパスむら他)
14戦12勝0分2敗 **2位**
全日本大学サッカー選手権初出場

■インディペンデンスリーグ東北

5月21日~10月28日全18節(富士大学人工芝サッカー場他)
18戦14勝2分2敗 **2位**

■東北社会人サッカーリーグ1部

5月7日~10月1日全18節(富士大学サッカー場他)
18戦13勝5敗 **2位**

■全国社会人サッカー選手権大会東北予選会

7月29~31日(八戸市多賀ダイハツスタジアムほか)
決 勝 対 コパルトーレ女子 1-0
優勝(初優勝 全国社会人サッカー選手権大会出場)

■全国社会人サッカー選手権大会

10月13~19日(福井県:丸岡スポーツランドほか)
1回戦 対 矢崎/バレンテFC 0-2

硬式野球部

■北東北大学野球春季リーグ戦

4月22日~5月29日(岩手:岩手県営球場他)
9勝1敗 **優勝**

第66回全日本大学野球選手権大会 出場決定(5年連続12回目)

<個人賞> 最優秀選手賞 加藤 弦(4)
優秀選手賞 三浦智聡(3)
首位打者賞(0.500) 佐藤龍世(3)
最多本塁打賞(3本) 佐藤龍世(3)
最多打点賞(11打点) 三浦智聡(4)
最優秀防御率賞(0.68) 加藤 弦(4)

<ベストナイン> 投手 加藤 弦(4)初
捕手 小林 遼(4)2回目
一塁手 三浦智聡(4)2回目
三塁手 佐藤龍世(3)2回目
外野手 楠研次郎(3)4回目

■第66回全日本大学野球選手権大会

6月5日~11日(東京:明治神宮球場他)
1回戦 対 福岡大学 4-2
2回戦 対 立教大学 2-6

■東北地区大学野球選手権大会

6月29日~7月2日(宮城:新田仙台市民球場他)
2回戦 対 東北大学 10-3
準々決勝 対 東日本国際大学 3-2
準決勝 対 仙台大学 3-2
決勝 対 東北福祉大学 9-10 **準優勝**

<個人賞> 敢闘賞 渡辺法聖(1)

■北東北大学野球秋季リーグ戦 1部リーグ

8月19日~9月17日(岩手:遠野球場他)
9勝1敗 **優勝**

第48回明治神宮野球大会 東北地区代表決定戦出場決定

<個人賞> 最優秀選手賞 加藤 弦(4)2回目
優秀選手賞 鈴木翔天(3)初
首位打者賞(0.410) 楠研次郎(3)初
最多盗塁賞(7) 楠研次郎(3)初
最多打点賞(9打点) 佐藤龍世(3)初
最優秀防御率賞(0.72) 鈴木翔天(3)初
連盟特別賞 鈴木翔天(3)

8/27 VS 八工大 **完全試合**

<ベストナイン> 投手 加藤 弦(4)2回目
三塁手 佐藤龍世(3)3回目
外野手 楠研次郎(3)5回目
外野手 嘉瀬 建(2)初

■第29回ユニバーシアード競技大会(野球競技)

8月19~30日(台湾:台北市)

小林遼(4)が捕手として出場。
日本は決勝でアメリカに10-0で勝利。2大会連続の金メダル

■第48回明治神宮野球大会

第9回東北地区大学野球代表決定戦

10月21日~22日、24日(岩手:花巻球場)

1回戦 対 東北福祉大学
(東北地区選手権大会優勝大学) 5-4
2回戦 対 仙台大学(仙台大六連盟) 2-0 **優勝**
第48回明治神宮野球大会出場決定(2年連続4回目)

<最優秀選手賞> 小林 遼(4)

<最優秀投手賞> 鈴木翔天(3)

自転車部

■東日本学生選手権トラック大会

5月6~7日(山梨:境川自転車競技場)
スプリント:三浦元耕(4)
ケイリン:澤口馨太(3)・佐々木真行(3)
1km:飯田大星(3)・伊藤敦也(4) **出場**

■全日本学生選手権トラック大会

7月1~2日(静岡県:日本CSC)
ケイリン:澤口馨太(3) **出場**
スクラッチ:佐々木真行(3) **出場**
1km:三浦元耕(4) **出場**

■全日本大学対抗選手権

8月31日~9月2日(長野県:松本市美鈴湖自転車競技場)
スプリント:三浦元耕(4) **予選7位通過**
1kmタイムトライアル:澤口馨太(3) **28位**
ケイリン:佐々木真行(3) **予選出場**

柔道部

■東北学生柔道優勝大会

5月21日(宮城:宮城県武道館)

男子(一部優勝大会の部)
第3位決定戦 対 仙台大学 0-6
女子(一部リーグ戦)

第2位 全日本大会出場決定
優秀選手 男子 天羽翔太(2)
女子 犬飼瑠稀(3)

■全日本学生女子柔道優勝大会

6月24日~25日(東京:日本武道館)

1回戦 対 中京大学 2-3

■全日本ジュニア体重別選手権大会東北予選会

7月9日(青森:八戸市体育館)

女子 57kg級 準優勝 天羽つかさ(1)
78kg級 第3位 佐藤夢子(2)

■東北学生柔道体重別選手権大会

9月3日~4日(秋田県立武道館)
男子 81kg級 第3位 若切 廉(3)
女子 52kg級 第3位 奥智恵子(3)
78kg級 第3位 高宮美咲(2)
78kg級 準優勝 佐藤夢子(2)

■全日本学生体重別選手権大会

9月30日~10月1日(東京:日本武道館)
男子 81kg級 若切 廉(3) 2回戦出場

準硬式野球部

■東北地区大学1部リーグ春季リーグ戦

4月15日~6月4日(宮城:仙台市民球場他)
6勝7敗1分 **第5位**

■東北地区大学体育大会

7月1日~3日(岩手県八幡平市他)

2回戦 対 秋田大学 5-3
準決勝 対 弘前大学 5-2
決 勝 対 岩手大学 9-3

優勝(2年ぶり)

■第5回東京六大学連盟親善交流試合

8月12日~13日(仙台市民球場)

東北選抜メンバーとして、3名が選出された。

日下部大輝(3) 外野手(主将)
佐々木 和(3) 内野手
菅原 洋平(3) 投手

第1戦東北地区 対 東京六大学 3-1
第2戦東北地区 対 東京六大学 1-6

■関口杯第13回東北地区大学トーナメント大会

8月29日~9月1日(宮城:鹿島台中央野球場他)

1回戦 対 東北工業大学 7-3
2回戦 対 青森大学 3-2(延長10回)
準決勝 対 岩手大学 11-5
決 勝 対 東北大学 7-3

優勝(4年ぶり5回目)

■東北地区大学1部リーグ秋季リーグ戦

9月9日~10月8日(花巻球場他)

5勝2敗
第3位(2位・3位同率となったが連盟規定により順位が確定)
<最優秀投手賞> 菅原洋平(3)
<ベストナイン賞> 佐々木翔太(1) 外野手

女子ソフトボール部

■北海道・東北地区大学ソフトボール選手権大会 兼 全日本大学ソフトボール選手権大会 北海道・東北地区予選会

5月13~14日(秋田:由利本荘市ソフトボール場)

準決勝 対 宮城教育大学 16-0
決 勝 対 東北福祉大学 2-0
優勝(2年ぶり5回目) インカレ出場決定

■東北総合女子ソフトボール選手権大会 兼 全日本総合女子ソフトボール選手権大会東北予選会

7月15~16日(山形:遊佐グラウンド)
準決勝 対 スマイル福島 9-0
決 勝 対 東北福祉大学 5-2

優勝 4年連続10回目 全日本総合女子選手権大会出場決定

■東日本大学ソフトボール選手権大会

8月5~7日(岩手:石鳥谷ふれあい運動公園)
対 東京学芸大学 8-1
対 学習院大学 12-2
準々決勝 対 早稲田大学 4-1
準 決勝 対 日本体育大学 0-5 **ベスト4**

■文部科学大臣杯全日本大学ソフトボール選手権大会

9月2日~4日(広島:入道山公園多目的広場)
対 東海学園大学 2-1
対 早稲田大学 2-0
準々決勝 対 日本体育大学 1-9 **ベスト8**

■全日本総合女子ソフトボール選手権大会

9月16~18日(福井市きさらばパーク)
1回戦 対 SGホールディングスギヤラクシースターズ 0-3

卓球部

■全日本大学総合卓球選手権大会(団体の部)

7月6~9日(北海道立総合体育センター)
男子予選リーグ
1戦目 対 関西学院大学 0-3
2戦目 対 東京経済大学 0-3

■全日本大学総合卓球選手権大会(個人の部)

10月25~29日(埼玉:所沢市民体育館)
男子シングルス1回戦
館岡享祐(2)1-3 重本(広島修道大学)
男子ダブルス1回戦
石井大生(4)・館岡享祐(2) 2-3 岡本・山本(高知工科大学)

テニス部

■東北学生テニス春季トーナメント

4月29日~5月6日(宮城:泉総合運動場他)
男子シングルス 伊藤悠馬(1) **ベスト16**
ダブルス 田村融佑(3)・伊藤悠馬(1)組 **ベスト4**
女子ダブルス 高内 麗(3) **※優勝**
※は全日本学生選手権大会予選出場決定

■東北学生テニス選手権大会

8月28日~9月5日(宮城:泉総合運動場他)
男子シングルス 伊藤悠馬(1) **ベスト4**
ダブルス 田村融佑(3)・伊藤悠馬(1)組 **ベスト8**
女子シングルス 高内 麗(3) **ベスト4**
ダブルス 高内 麗(3)・清水(山形大)組 **準優勝**

バスケットボール部

■北奥羽地区大学春季バスケットボール大会

5月27~28日(秋田:三種町琴丘総合体育館)
男子準決勝 対 秋田大学 86-72
決 勝 対 岩手大学 70-73
準優勝

<敢闘賞> 藤原佑也(4)

<優秀選手賞> 磯谷公哉(3)

女子準決勝 対 八戸学院大学 62-56

決 勝 対 岩手大学 76-81

優勝

<最優秀選手賞> 松田有紀(4)

<優秀選手賞> 大川礼乃(4)、鈴木 彩(2)

<新人賞> 館岡果南(1)

バドミントン部

■東北学生バドミントン選手権大会

5月26日~31日(山形県体育館)
男子団体2部 **優勝** 入替戦で勝利し1部昇格
男子シングルス 菊地裕太(4) **優勝(4連覇)**
ダブルス 菊地裕太(4)・米村拓(2)組 **優勝(2連覇)**
インカレへの出場権獲得

■東日本学生バドミントン選手権大会

8月25日~9月1日(北海道立総合体育センター)

男子シングルス 菊地裕太(4) **ベスト32**

■全日本学生バドミントン選手権大会

10月23~26日(愛知:一宮市総合体育館)

男子シングルス 菊地裕太(4) **ベスト32**

ダブルス 菊地裕太(4)・米村拓(2)組 **出場**

バレーボール部

■東北バレーボール大学春季リーグ

4月29~5月28日(岩手県立大体育館他)
男子 2部北リーグ **1位**
入替戦で勝利し1部昇格

ハンドボール部

■東北学生ハンドボール春季リーグ

5月12~16日(宮城野体育館他)

男子 5戦4勝 1部リーグ **2位**

<ベストセブン> 遠藤拓也(4) 白石光希(3)

女子 3戦3勝 Aリーグ **優勝**

<得点王> Aリーグ高田静(3) 16点

<ベストセブン> 岩崎千陽(4) 矢内牙子(4)

玉城日菜子(4) 高田静(3)

男女とも東日本学生選手権大会出場決定

■東日本学生ハンドボール選手権大会

8月10~12日(北海道:函館アリーナ)

男子 1戦目 対 金沢工業大学 32-19

2戦目 対 桐蔭横浜大学 17-30

3戦目 対 函館大学 32-22

2勝1敗 A組 **2位**

女子 1戦目 対 北海道教育大学若見沢校 40-12

2戦目 対 富山国際大学 37-22

3戦目 対 茨城大学 23-12

3勝 A組 **優勝**

女子は全日本学生選手権大会出場決定(12年連続12回目)

<個人表彰(特別賞)> 高田 静(3)

平成30年度 入試案内

経済学部 / 経済学科・経営法学科

出願期間	AO入試・社会人入試			推薦入試		地域・高校連携協定校特別入試	職業会計人・商業科教員養成特待生入試	特待生入試		一般入試		センター入試		編入・転入入試		留学生入試
	I期	II期	III期	指定校推薦 スポーツ推薦 公募推薦				学力優秀者・資格取得者		I期	II期	I期	II期	I期	II期	
	自己PRカード提出期間			I期	II期			I期	II期							
	6/5(月) 8/10(木)	8/28(月) 9/22(金)	9/25(月) 11/24(金)	10/13(金)	11/21(火)	11/21(火)	11/21(火)	11/21(火)	2/5(月)	1/4(木)	2/5(月)	1/4(木)	2/5(月)	10/13(金)	1/4(木)	1/4(木)
	願書等提出期間			10/25(水) 消印有効	12/8(金) 消印有効	12/8(金)	12/8(金)	12/8(金)	2/28(水)	1/31(水)	2/28(水)	1/31(水)	2/28(水)	10/25(水)	1/31(水)	1/31(水)
試験会場	本学・札幌			本学		本学・札幌	本学	本学		本学・仙台・東京		本学		本学		本学
試験日	面接試験 8/25(金)	面接試験 10/5(木)	面接試験 12/15(金)	11/2(木)	12/15(金)	12/15(金)	12/15(金)	12/15(金)	3/9(金)	2/9(金)	3/9(金)	大学入試センター試験 平成30年1/13(土)・1/14(日)		11/2(木)	2/9(金)	2/9(金)

※詳しくは「富士大学入学選抜実施要項・入学願書2018」またはウェブサイトをご覧ください。

第41回日米大学野球選手権大会 第29回ユニバーシアード競技大会

小林遼(4年)が 日本代表として 参加!



平成29年7月12日(水)～17日(月)アメリカ・コネチカット州他で行われた第41回日米大学野球選手権大会と、平成29年8月19日(土)～30日(水)台湾・台北市で行われた第29回ユニバーシアード競技大会(野球競技)に本学のエリート(4年)が日本代表選手として参加いたしました。



2018年4月から 富士大学大学院が一層充実します!!

- カリキュラム改正**
授業科目の充実を図ります。社会人再学修者や留学生を含めた多様な入学者等のニーズに適切かつ効果的に対応していきます。実践的・今日的科目として特徴を持たせました。
- 前・後期制の導入**
すべての学科科目が半期(6ヶ月)で完結する前・後期制(セメスター制)を採用します。セメスター制がほとんどを占める諸外国との対応もより容易となります。
- 履修モデルの設定と指導**
研究・学修上のニーズに対応するために、「履修モデル」を提示し、「履修モデル」主任が指導していきます。
- リーディング・リスト制の導入**
基礎的知識を獲得しうる入門的・基礎的文献や資料のリストを配付して、履修科目の選択・決定に役立ててもらいます。
- 研究における方法的な基礎を修得する演習科目の設置**
スムーズに学修・研究活動をスタートできるように、「研究方法基礎演習」を設置・開講します。
- 地域経済・環境関連科目の設置**
21世紀の諸問題を読み解くキーワードのひとつは、「地域と環境」です。従来の授業科目でもこれら二つの領域を意識しており、今後も継続してありますが、平成30年度には「環境と経済特論」、「地域産業特論」、「地域経営特論」という3つの科目を新設します。地域にかかわる諸問題、環境にかかわる諸問題を政策・制度や経営学の分析手法を用いて分析・研究してゆくことが可能となり、問題解決能力につながられるようになります。
- 入学時期の改訂**
前・後期制の導入に伴い、入学時期が前期(4月開始)に加えて、後期(9月開始)にも大学院に入学することが可能となります。これによって、入学者は自身の研究事情に応じた学びを修得することが可能になります。

ささき ほたか
佐々木武尊さん
Hotaka Sasaki

平成26年
経済学部経営法学科卒
●出身：秋田商業高校
●勤務：秋田県立湯沢南高校

OB
Message

現在、私は商業科の教員として秋田県内の高校に勤務しています。

以前は、金融関係に勤務しておりましたが、県内の経済が低迷している現状を実感したことで「秋田(地元)の未来を担う人材の育成」に挑戦しようと考え、秋田県の教員となりました。

勤務先の学校では、会計分野とビジネス情報分野の授業を中心に担当しています。

生徒にとって身近な例を挙げることや、生徒の立場で物事を考える姿勢を心掛け、寄り添う指導をモットーに頑張っています。また、画像編集ソフトや動画編集ソフトを使った授業では、生徒のアイデアを大切に、オリジナリティのある作品制作を目指した指導もしています。そのような中で、生徒の満足感や達成感を、私自身同じように感じる事ができる点が仕事をする上での「やり甲斐」や「喜び」となっています。商業の授業を通して、地域の現状を知る力、地域の課題を発見する力、さらには、その課題をどう解決していくかを考える力を身に付けさせるために、試行錯誤しながら奮闘する毎日を送っています。

学生時代は、卓球部に所属しており主将を務めさせていただきました。チームを1つにまとめ勝利に結びつけることは、決して容易なことではありませんでしたが、その中で得た経験や人とのかわりが、私の「チャレンジ」を後押ししてくれています。

学生の皆さんは、勉強に部活動に多忙な日々を送っていると思います。大変かと思いますが色々なものを見て、触れて自分の感性を高めてください。

また、自分の周りの方との「つながり」を大切に、周りの方に感謝し、「おもしろい」を持って学生生活を送ってほしいと思います。私自身そうであるように、その価値観や経験が、卒業後の自分の財産になります。どんなことも気持ち1つです!どんなことにも果敢に「チャレンジ」し、「やりたい事」や「やろうとしている事」に向かってがんばっていただきたいです。

